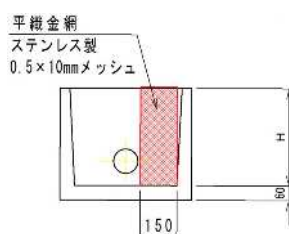


## 愛知県における環境配慮地区事例①

環境配慮区分	修正				
環境配慮概要	用水路に脱出用施設、排水路に魚巣ブロック等を設置した。				
事業名	農地環境整備	地区名	名倉東	工期	H19～H26
所在地	愛知県北設楽郡設楽町				
地区概要	老朽化や不等沈下により流水障害や断面不足となった農業用の用排水路の改修、暗渠排水及び管理用道路の整備を行い、農作業及び維持管理の省力化を図る。				

### <環境に配慮した施設の整備>

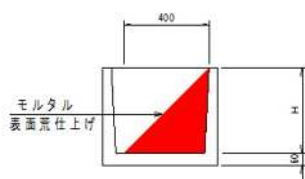
用水路に脱出用施設、排水路に魚巣ブロック等を設置することで、魚類や小生物の生息環境の回復を図った。



【脱出用施設(金属メッシュ)構造図】



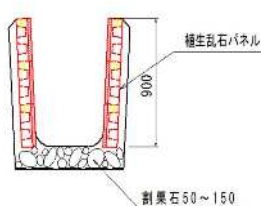
○用水路の柵に金属メッシュを設置し、水路に落ちたカエルなどが登れるようにした。



【脱出用施設(スロープ)構造図】



○水路にスロープを設置し、水路に落ちたカエルなどが登れるようにした。



【ホタル水路 構造図】



○カワニナの繁殖を促すため、排水路底に段差を設けよどみを作るとともに、側面に「植生乱石パネル」を使用し植生の早期繁茂を促進し、ホタルの幼虫の生息環境を保全した。



【魚巣ブロック】



○排水路に魚巣ブロックを設置し、魚類や小生物の生息環境を保全した。

<配慮結果>

本地区では、排水路整備前後で県の職員によるモニタリング調査を行い、魚類や小生物の個体数の変化を確認した。

[排水路]



アマゴ

アブラハヤ

改修後の排水路では、アマゴ、アブラハヤなどが確認された

タモ網等により水路内の生物を捕獲した

[ホタル水路]



「植生乱石パネル」では植生の早期繁茂が確認できた、また、ホタルの幼虫も確認できた

[脱出用施設(金属メッシュ)]



カエルやイモリが金属メッシュを登るのが確認でき、脱出用施設が生物の移動経路としての役割を果たしている

○モニタリング調査の結果、改修前に確認された生物が、改修後も確認されているため、生物の生息環境に大きな変化はなかったと判断した。

また、ホタル水路や脱出用施設も一定の効果を発揮している。

所属	愛知県新城設楽農林水産事務所		
TEL	0536-62-0554	FAX	0536-62-1630
備考			